

消雪パイプにより冬期の通行に
配慮した狭さを設置



現地で狭さの具体的な
位置や形状を住民と共有



10.新潟県阿賀野市 (緑町地区)

写真提供: 阿賀野市

広域図



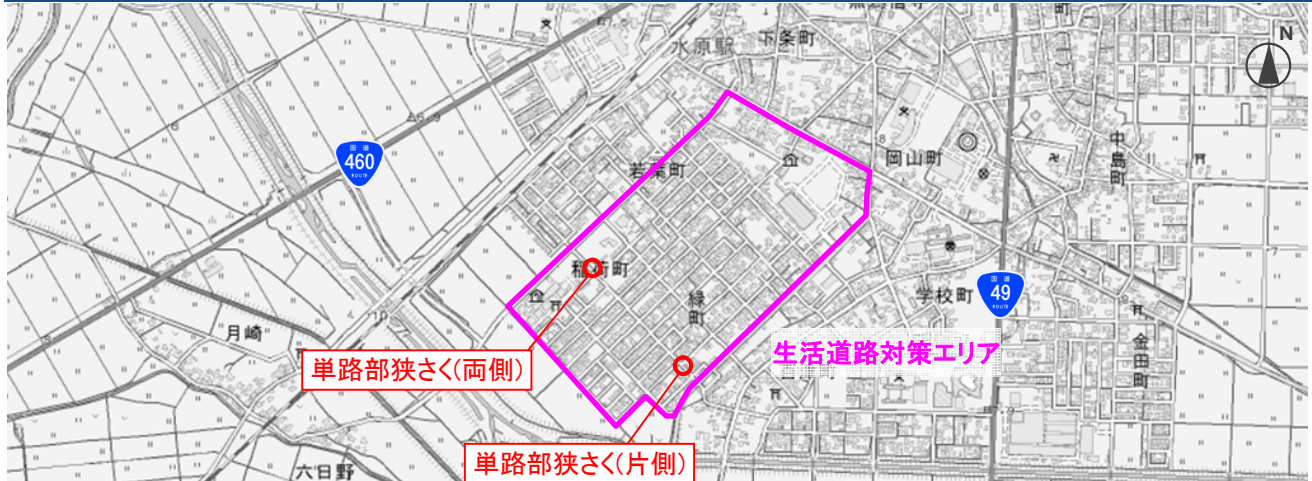
背景の地図の出典: 国土地理院

整備計画等 策定状況	生活道路対策エリア
対策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ゾーン 30 に指定 ➤ 単路部狭さく(片側)1箇所 ➤ 単路部狭さく(両側)1箇所 他
生活道路の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 朝夕の水原駅への送迎車による抜け道利用が多く、車両の走行速度の高い(30km/h以上の車両が58%程度*) ➤ 病院、診療所、保育園、介護施設などがあり、歩行者の通行が多い <p style="text-align: right;">*ETC2.0 プローブ情報</p>

設置の
特徴消雪パイプにより冬期の通行に
配慮した狭さを設置

物理的デバイスの概要

設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

設置内容

	内容	備考
設置箇所数	2箇所	
設置時期	2017年9月	
狭さくの形状	【単路部狭さく(両側)】 ・狭小部の幅員 3m ・狭小部の長さ 2m ・すりつけ部の長さ 2m 【単路部狭さく(片側)】 ・狭小部の幅員 4m ・狭小部の長さ 2m ・すりつけ部の長さ 2m	・技術基準を参考
構造及び 付属施設	・ゴム製ポール ・自発光鋲 ・路面表示 ・路側帯のカラー化	・路側帯：緑
技術的な工夫	◆生活道路内の車両の速度抑制を図るため、対策エリア入口部に狭さを設置 ◆夜間の視認性に配慮し、ゴム製ポールは部材全体で反射性が高いものとし、ポール基部に自発光鋲を設置 ◆狭さくの長さは、沿道家屋の乗り入れ等に影響を与えないよう、官地の前面におさまるよう形状を調整 ◆住民や警察との協議にて、混雑時に車列のできる可能性がある箇所では、すれ違いが可能になる幅員(狭小部 4m)とした ◆冬期の通行に支障をきたさないよう、消雪パイプと併せて運用	

設置状況

単路部狭さく(両側)



提供: 阿賀野市

概観

単路部狭さく(片側)



提供: 阿賀野市

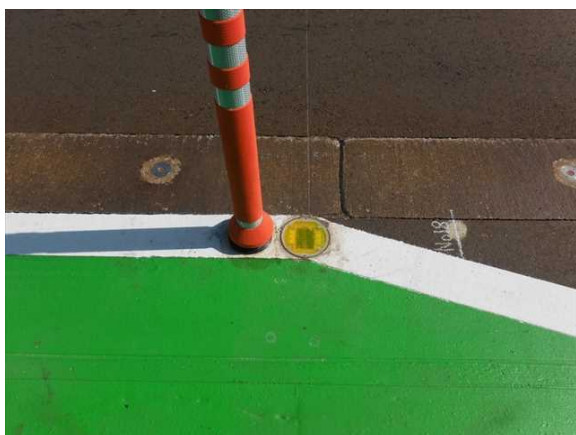
概観



通行状況



対策エリア入口部での狭さく設置



提供: 阿賀野市

ゴム製ポール及び自発光鋲



通行状況

合意形成
のポイント

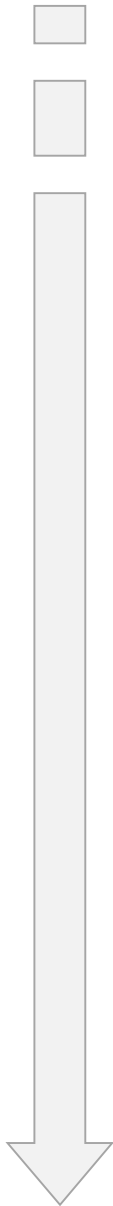
現地で狭さくの具体的な
位置や形状を住民と共有

設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

設置に至るまでの経緯
(道路管理者の動き)

合意形成の概要

生活道路対策エリア登録(2016.3)



2016.8 関係者打合せ

- ETC2.0 プローブ情報による交通分析結果



散水消雪の路線で、近年の積雪深さも30cm程度であり、特別な管理を要せず視認性が確保できることから狭さくを選定

2016.10 阿賀野市生活道路対策推進会議

- 対策箇所及び内容



対策推進会議を組織して、迅速に対策案を作成

2016.11 第1回住民説明会

- 対策箇所及び内容

2016.12 現地立会

- 対策箇所及び内容

2017.2 第2回住民説明会

- 再検討による対策案の説明




現地で関係者が一緒に詳細な形状を決定

本設置(2017.10)

- 単路部狭さく(両側)1箇所
- 単路部狭さく(片側)1箇所

PDCA の中での合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える合意形成のポイント 
現況調査 計画策定 <Plan>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 関係者打合せ 実施日 2016年8月 参加者 国土交通省、阿賀野市、阿賀野警察署 提示資料 ETC2.0プローブ情報による交通分析結果(国土交通省)、ゾーン30整備について(阿賀野警察署) ❖ 阿賀野市生活道路対策推進会議 実施日 2016年10月 参加者 関連地区自治会長、小学校、保育園、国土交通省、阿賀野市、阿賀野警察署 提示資料 対策箇所及び内容 ❖ 第1回住民説明会 実施日 2016年11月 参加者 自治会、阿賀野市 提示資料 対策箇所及び内容 ❖ 現地立会 実施日 2016年12月 参加者 住民、阿賀野市 提示資料 対策箇所及び内容 ❖ 第2回住民説明会 実施日 2017年2月 参加者 自治会、阿賀野市 提示資料 再検討による対策箇所及び内容 	<ul style="list-style-type: none"> • 散水消雪の路線で、近年の積雪深さも30cm程度であり、特別な管理を要せず視認性が確保できることから狭さくを選定 • 対策推進会議を組織して、迅速に対策案を作成 • 狭さく設置箇所については、住民説明会を開催し、了解を得ることを条件に対策内容を合意 • 短期間で検討の大枠の合意を得た • 現地で狭さくの設置位置をチョークで示すなどして関係者と一緒に具体的な形状をイメージ
対策実施 <Do>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 本設置 運用開始 2017年10月 	
評価 <Check>	ETC2.0プローブ情報等のビッグデータにより効果検証を実施 車両速度の低下を確認	
対策改善 <Action>	引き続き道路交通状況の確認を行う	

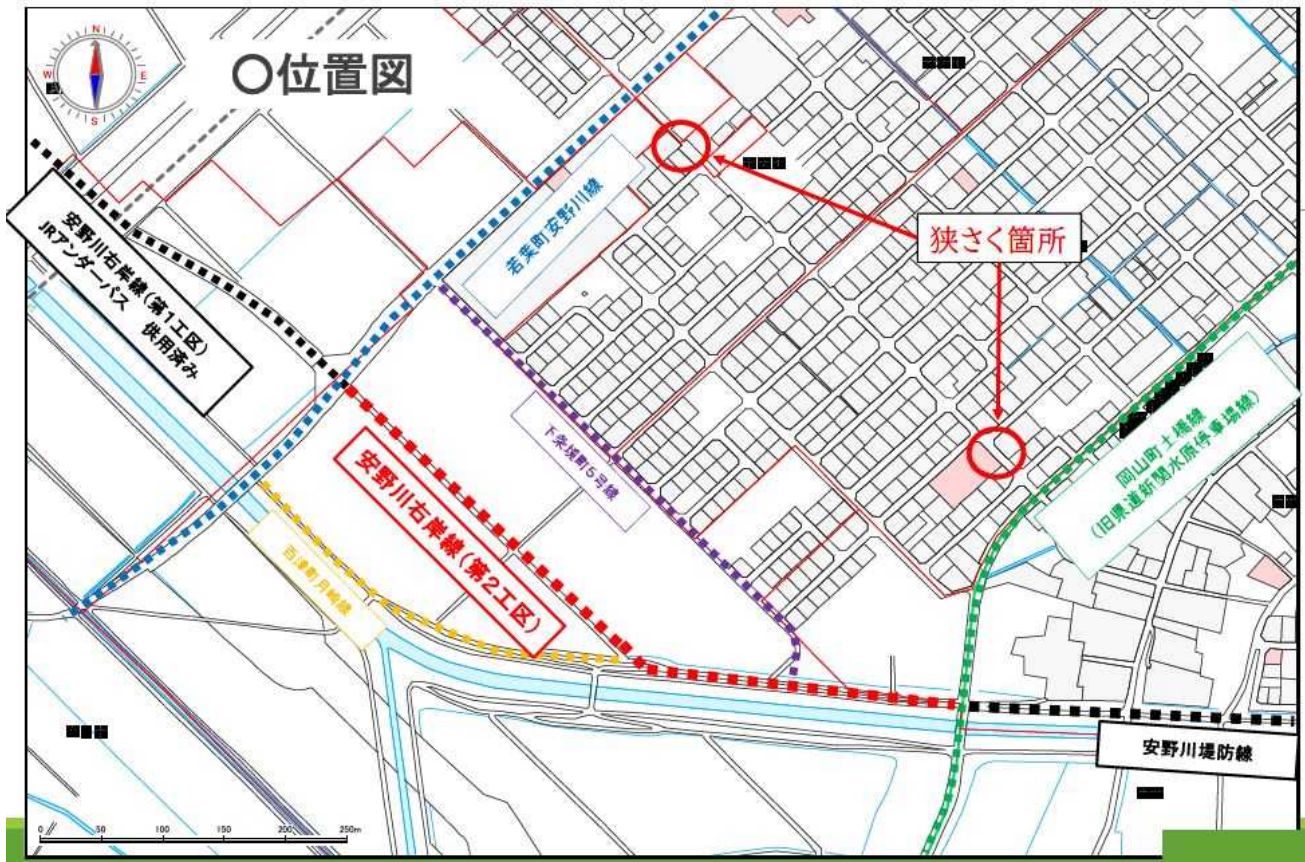
合意形成における道路管理者からみた特筆事項

円滑な検討に 結びついた点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 狭さく設置箇所について、様々な意見が出されたが、その都度計画の見直しを行い、住民との現地確認を重ね粘り強く着地点を探した。
考えられる 今後の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 詳細の形状や箇所を住民説明会で決定するとしたことにより、最後は行政と各住民とのやりとりになってしまったため、今後は行政主体となり住民説明会でなく、地区全体で意見交換しながら検討する進め方にしたい。

NEW!

新潟県阿賀野市(緑町地区)

その他参考資料



提供: 阿賀野市